

予 算 要 求 資 料

令和8年度当初予算

支出科目 款：土木費 項：住宅費 目：住宅総務費

事業名 岐阜県住生活基本計画改定事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

都市建築部 住宅課 住宅企画係 電話番号：058-272-1111(内4833)

E-mail：c11659@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 10,312 千円 (前年度予算額： 0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	10,312	4,627	0	0	0	0	0	0	5,685
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

近年の少子高齢化の急速な進展や人口・世帯が減少する社会が到来する中「住宅の量の確保」から「住環境を含めた住宅の質の向上」への明確な政策転換を図るとともに、「市場重視・ストック重視」の住宅政策を展開する枠組みを確立するため、住生活基本法が平成18年6月に公布・施行された。これを受け、岐阜県住生活基本計画(以下「県計画」という。)を平成19年3月に策定した。

本計画は県の住宅施策の基本方針であり、現行の計画は令和3年度から令和12年度の10年間を計画期間としているが、全国計画に即して、概ね5年毎に社会情勢の変化及び施策の効果に対する評価を踏まえて見直し、所要の改定を行うこととしている。その根拠となる住宅事情等の基礎資料については、5年に一度実施される住宅・土地統計調査(総務省)や住生活総合調査(国土交通省)なども活用する。

(2) 事業内容

○住生活基本計画改定検討委員会の設置

現行計画への改定時と同様に、住宅政策、まちづくり、福祉、住宅生産等の各分野における学識経験者等からなる住生活基本計画改定検討委員会を設置し、当該委員会による検討を踏まえて、県計画の改定を行う。

○策定業務の委託

県計画の改定業務について、各種統計調査の整理及び分析に精通するとともに、住宅施策、住宅生産、まちづくり、福祉等の住宅に関わる様々な分野において専門の知識と経験を有するコンサルタントに委託を行う。

- 1) 国及び県の各種統計調査に基づき、本県の住生活事情について分析
- 2) 本県の住宅市場動向等を把握するため、住宅関連事業者等を対象に聞き取り調査を実施
- 3) 計画の目標となる各種指標の設定・推計(計画期間における将来推計)
- 4) 「岐阜県高齢者居住安定確保計画」等の他の住宅関係計画の統合を検討
- 5) 上記調査を踏まえ、計画案を策定

(3) 県負担・補助率の考え方

一般財源：55%、国庫支出金（社会資本整備総合交付金）：45%

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	473	委員報償費
旅費	161	委員費用弁償
需用費	18	一般事務費
役務費	10	通信運搬費
委託料	9,578	住生活基本計画策定業務委託料
その他	72	会議室借上げ
合計	10,312	

決定額の考え方

4 参 考 事 項

(1) 後年度の財政負担

5年周期で改定を実施予定

(2) 事業主体及びその妥当性

住生活基本法第17条に、都道府県の住生活基本計画の策定を規定

事業評価調書（県単独補助金除く）

☐ 新規要求事業

☒ 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

- ・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
令和8年度末までに岐阜県住生活基本計画の改定を行う。

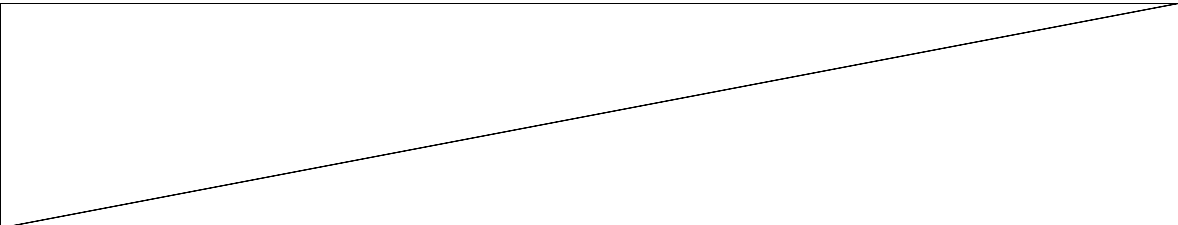
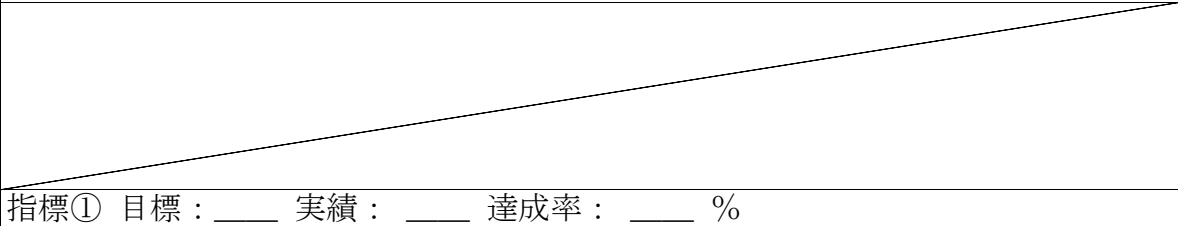
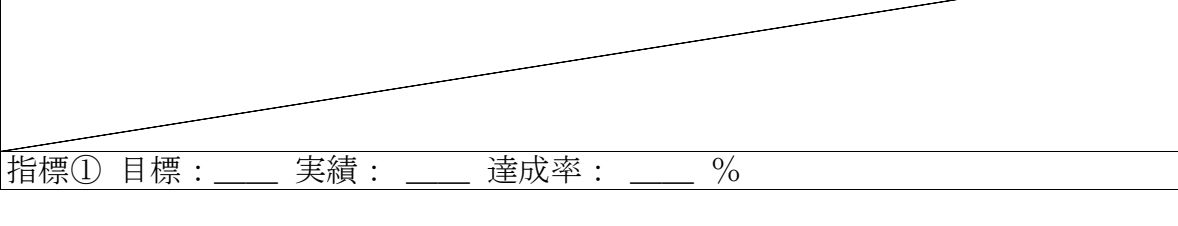
（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						

○指標を設定することができない場合の理由

データの集計・分析等に関する委託であり、指標の設定に適さない。

（これまでの取組内容と成果）

令和4年度	 <p>指標① 目標： ____ 実績： ____ 達成率： ____ %</p>
令和5年度	 <p>指標① 目標： ____ 実績： ____ 達成率： ____ %</p>
令和6年度	 <p>指標① 目標： ____ 実績： ____ 達成率： ____ %</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)

3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない

(評価)

・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)

3 : 期待以上の成果あり
2 : 期待どおりの成果あり
1 : 期待どおりの成果が得られていない
0 : ほとんど成果が得られていない

(評価)

・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか)

2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている

(評価)

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項

(次年度の方角性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント
又は事業名及び所管課
組み合わせる理由
や期待する効果 など

【〇〇課】